

2016 年病院体験ボランティア参加者の感想

2016 年 8 月 22 日（月）～26 日（金）に当院でのボランティア活動を希望した高校生 4 名を受け入れ、外来棟 1 階で患者の案内誘導、自動再来受付機の操作補助などを中心に病院でのボランティア活動を体験してもらいました。

参加者から寄せられた感想文（抜粋）をご紹介します。

今回の体験ボランティアに参加された皆様の今後のご活躍を心より祈念いたします。

[高校 1 年生 男子]

テーマ「愛を届ける」

この夏、3 日間杏林大学病院でボランティアをしました。主な内容は出入口付近に立ち、外来に来る患者さんの誘導・挨拶を行うことで、9 時から 12 時まで行いました。

私は、医療従事者は患者さんにできることを精一杯行っているということが、杏林大学病院の理念である「あたたかい心のかよう、良質な医療を患者さんに提供します」の本質であることを別の角度から理解することができました。自分のできること、相手に対して愛情を届けること。もっと具体的に言えば相手の目を見て挨拶することが基本的であると感じました。

他のボランティアでは触れられないような、本質的なことを杏林大学病院で学ばせてもらい、皆さんに感謝いたします。三日間という少ない日数でしたが、貴重な体験をありがとうございました。

[高校 1 年生 男子]

私が、このボランティアに参加した理由は、私が小さいころから杏林大学病院にお世話になってきたからです。

実際ボランティアをしてみて、杏林大学病院は明るくてきれいな建物で、中で働く方たちもみんな活気がありました。

私の将来の夢は、病院薬剤師になることです。今回このボランティアで病院の雰囲気について、ますますこの夢を叶えたいとなりました。

病院職員のたくさんの方から慣れない私の指導をしてくださったおかげで、無事に 3 日間やりとげられました。ありがとうございました。